

# POWER!



2017年  
5月  
vol. 51

平成29年(2017年)  
5月20日発行

発行所 ● 日本薬剤師連盟  
〒160-0004  
東京都新宿区四谷4-3  
四谷トーセイビル2階  
TEL (03) 3225-3100  
FAX (03) 3225-3200

発行月 ● 隔月(奇数月)発行

<http://www.yakuren.jp>

## 本田あきこ副会長、 活動を開始!!

平成29年3月22日の定時評議員会において、日本薬剤師連盟の組織内統一候補に決定した本田あきこ氏は、翌23日付で同連盟副会長に就任し、薬剤師の現場の声に耳を傾けようと直ちに活動を開始した。

### 国会議員への挨拶まわり

まず、自民党の薬剤師議員であり、昨年7月、同じく日本薬剤師連盟の組織内統一候補として見事三期目の当選を果たした藤井基之参議院議員を始め、松本純国務大臣、とかしきなおみ衆議院議員を訪問し、挨拶するとともに、これからの活動に対するご支援を要請した。それぞれの議員から、温かい激励の言葉をいただいた。



とかしきなおみ衆議院議員



藤井基之参議院議員

### 自由民主党幹部を訪問

本田あきこ副会長は、藤井議員と同じく、自由民主党の公認を受けて、全国比例区の候補者として、次期選挙に臨む予定であることから、高村副総裁、二階幹事長、細田総務会長、茂木政調会長、古屋選対委員長ほか、自由民主党の幹部を訪問し、これからの活動に対する抱負を述べた。



松本純衆議院議員

## 全国訪問の旅がスタート

4月に入り本田副会長の全国訪問の旅がスタートした。まず、九州から開始することとし、熊本県、佐賀県、長崎県、鹿児島県、大分県、福岡県、沖縄県、宮

崎県の順に、県薬剤師連盟、会員薬局、卸の事業所等を訪問することとなった。日本薬剤師連盟からは、岩本幹事長と安東副会長が同行している。



### 熊本県

よかばってん、がまだせ!



4月3日から6日にかけて、地元の熊本県の薬局を中心に訪問し、多くの会員や従業員の皆さんに政策を訴えた。5日には、日本薬剤師連盟の山本会長、岩本幹事長が熊本県に向かい、本田副会長らとともに自民党熊本県連を訪問し、山本会長、前川幹事長に挨拶するとともに、意見交換を行った。

### 佐賀県

がばい応援しとっけん、  
がんばらんばよう!



4月10日から13日まで、佐賀県内の薬局を中心に訪問。適正な医療分業の定着に向けて、現場の意見をお聞きするなど、活発な意見交換ができた。また、熊本地震の際に応援に来ていただいた薬剤師と再会し、握手の輪を広げた。

### 長崎県

がんばらんば!



4月17日から20日にかけて、長崎県内の薬局、卸の事業所等を訪問。薬局のみでなく、卸業務についても現場の声をお聞きし、医薬品の適正な供給体制のあり方などについて意見交換を行った。夜は、講習会での挨拶や意見交換を行った。

## 風力計



日本薬剤師連盟  
常任総務 丹下 富博

### 結束力が生み出すもの

本田さんが満場一致で選出された定時評議員会の直後、ご本人が挨拶された瞬間に会場の空気が一変した。爽やかでありながらとても力強く、会場にいる先生方が魅了されたと言っても過言ではなかった。選挙においてムードとか空気というものはとても大切と言われている。しかし、それだけではない。ただ、現況の薬剤師を取り巻く環境はこれまでになく厳しく、業態の変化も求められる中であり、本田さんの擁立は我々にとって千載一遇のチャンスとして捉えなければならぬ。

さて、私が薬局内のスタッフを、今一度取りまとめたとき、《結束力の強化書》という本を読み返す時がある。その内容には「結束力アップの三段階」が書かれているのでご紹介したいと思います。

まず、「第一段階」としてメンバーの気持ちがあまとまる「共通の目標」を定めて、「やらないこと」を決める。「第二段階」はメンバーが助け合える「信頼関係」が生まれ、長所を見つけて激励し合える。そして、「第三段階」はメンバーで結果を変える「役割を担い合って」「助け合えるフォーメーション」が生まれ、結果を変える工夫ができるというものだ。

それに当てはめてみると、私達の「共通の目標」は定まっている。ここからは、加速的に本田さんへの期待と薬剤師と結び付けて輪を広げていかなければならない。その輪こそが、本田さんと薬剤師全体との間に「信頼関係」を生み出す力になるのだと思う。さらに、薬剤師一人ひとりが自分の担える役割を自覚し突き進んでいくこともとても重要である。

本田さんの存在感が私達薬剤師の結束力に繋がっていくと思うとワクワクしている今日この頃である！



鹿児島県 キバレ!チェスト!



4月24日から27日にかけて、鹿児島県内の薬局、卸の事業所等を訪問した。また、各地区で開催されている講習会で挨拶をさせていただいた。



■ 藤井議員、敷地内薬局問題で追及!

4月4日(火)、参議院の厚生労働委員会において質問に立ち、医療機関敷地内への保険薬局の誘致問題、偽造医薬品の流通問題等、政府の対応を質した。特に敷地内薬局の誘致問題については、門前から、かかりつけ、そして地域へという、患者のための薬局ビジョンの方針に反するものであることを強調し、塩崎大臣も問題であるとの考えを示した。

この質疑を受けて厚労省は、指摘された敷地内薬局は認められないとする事務連絡を地方厚生局に発出した。

敷地内薬局の誘致問題については、本連盟や都道府県連盟から自民党・薬剤師問題議員懇談会メンバーに対して厳格な運用を呼びかけてきた。

次に4月6日(木)、4日に引き続き厚生労働委員会において質問に立った。臨床研究法案を審議する委員会であり、法案の対象となる「特定臨床研究」の割合、患者数、ディオバン問題との関係などについて質問した。

続いて4月24日(月)、決算委員会において質問に立ち、薬物乱用防止対策、ハーボニー偽造薬流通事件を受けての防止対策等について、厚生労働大臣の見解



全国会長・幹事長拡大会議が開催される!!

3月23日(木)、平成28年度第3回国会長・幹事長拡大会議が、四谷のスクワール麹町において開催された。山本会長の挨拶に続き、座長として石垣東京都薬剤師連盟会長が選出され、会議が進行された。

本田あきこ副会長が初仕事

第一の報告事項として岩本幹事長より、前日の定時評議員会において次期参議院議員選挙における組織内統一候補者として決定された本田あきこ副会長が紹介され、抱負を熱く語った。

第24回参議院議員選挙結果分析

次に、昨年7月の参議院議員選挙結果の総括報告書について、まず石井副会長より選挙結果の解析以外の部分について説明され、続いて鳥海副幹事長からスラ

今後の政治活動に向けて

報告事項の後、休憩をはさんで協議が行われた。岩本幹事長から、「過去の選挙結果を踏まえての自民党比例代表候補者の当選予想数の考え方」、「今回選挙における比例代表候補者の各都道府県における獲得票数の順位」等についての説明がなされ、検討項目が示された。これに対し、女性としての特徴を生かすべきである、他の薬業団体の支援を受けられるようにすべきである、本田副会

イドを使用し、選挙結果の解析結果の説明が行われた。続いて、過去4回の選挙のうち今回選挙で最も多くの票を獲得した5府県のうち、新潟県薬剤師連盟(長澤会長)及び兵庫県薬剤師連盟(三宅副会長)より具体的な活動について事例報告が行われた。

長の活動は熊本に集中することも考えるべきである、若手薬剤師の取り込みが重要であるなどの意見が寄せられ、活発な意見交換が行われた。最後に荻野副会長の閉会の挨拶で会議を終了した。

会議終了後、本田副会長は会場の出口で立礼しながら参加者を見送った。



もとゆき Report 藤井もとゆき 国会レポート

薬剤師・薬学博士  
自民党総務副会長・参議院議員  
藤井もとゆき

**薬剤師の信頼確保に向けて**

通常国会は後半を迎えています。閣僚の不適切な発言や政務官の不謹慎な行動により辞任を余儀なくされる事態が生じ、天皇陛下の退位を可能にする特例法案やテロ等準備罪の構成要件を含む組織犯罪処罰法改正案などの重要法案の審議に遅れを来しかねない状況となっています。厚生労働分野でも「臨床研究法案」は成立したものの、介護保険法等の改正法案や医療法等の改正法案は審議が続いているところです。審議の遅れによって国民生活に支障を来すことの無いよう、真摯に取り組んで参りたいと思います。

さて、今年に入り薬剤師の信頼を揺るがしかねない事案が続けて発生しました。

一つは「ハーボニー配合錠」の偽造品が薬機法の許可を受けた複数の卸売販売業者を経て関西メディコに納品され、同社が運営する奈良県内の薬局から患者に調剤されたという信じがたい事案であります。稚拙な偽造品であったこともあり、幸いにも患者が服用前に異変に気付き事なきを得ていますが、ともすれば重大な健康被害につながりかねないところです。また、この偽造品は、薬機法の許可を受けていない事業者を通じて、和歌山県内の医療機関に納入されたいことも明らかとなっています。

もう一つは、4月の業界紙に報道された保険の不正請求です。記事によれば、大手調剤薬局チェーンが運営する秋田県内の調剤薬局において、処方せんの集中率を意図的に低くするために、同一グループの他店で受けた処方せんを、自らの店舗で受けたものとして保険請求を行っていたとしています。

いずれの事案も不心得な一部の薬剤師・薬局によるものではありませんが、国民の目からは、医薬品への不安や薬剤師・薬局に対する不信を抱かせるところとなっています。今一度、全ての薬剤師が襟を正し、医療人として高い倫理観をもって業務に取り組み、国民の信頼確保に努めて行くことが何より大切になっていると思います。

編集後記

趣味から学ぶ

先日、ゴルフ中継をTV観戦し、プロゴルファーのメンタル面に感動しました。マスターズゴルフトーナメントではセルシオガルシアプロが優勝しましたが、日本人の松山英樹プロは前日のプレーで順位を落とすにも関わらず最終戦では上位(11位)と健闘しました。

また日本ツアーの中日クラウンズでは最終日に激戦の結果18ホール(最終ホール)に宮里優作プロがグリーン上段からのバーディパットを見事に奪い優勝しました。観戦している私もハラハラしていました。プレーヤーはこの1打で優勝との心境でのプレーには凄いプレッシャーが懸ったと思います。最近ではゴルフTV観戦も余り見る機会がなく、久しぶりの2戦の素晴らしいプレーに声援を送りたい。私もよく趣味は何ですかと聞かれた時、「ゴルフです」と応えませんがプロの競技を見て、月一ゴルフで応えるのも少々恥ずかしい気がし、気持ちだけはいつも練習しようと思いがけていますが、時間に追われると思うだけで終わってしまうのが現実です。時々中部銀次郎さんの著書「わかったと思うな中部銀次郎ラストメッセージ」を読むと第16話に「マナーを守ることは自分をコントロールする力を養うことでもある」との文章があります。この言葉の意味は全ての事に繋がると思っています。なかなか出来るものではないが今年度はこの言葉を目標として頑張っていきたい。

(T・A)

広報委員

- 安東 哲也、石井 甲一
- 鳥海 良寛、大澤 泰輔
- 大原 整、榑方 絢子
- 近藤直緒、美根本 陽充